

ある冬の午後

作詞・作曲：ペップ・リヤド

ある冬の午後、二人してソファに沈み込み
Ghostを観ていた 君は僕に抱きつきながら
Ghostを観ていた

ある冬の午後、君は僕にささやいた
「いつか死が二人を引き離したら
私の愛を大切にしまってね。

傷つけることのないものだけをしまうガラスの小瓶の中に。
愛の香りがいつまでも残るように。
ずっと愛してる、ずっと。
交わした口づけがずっと残るように。ずっと。」

Oh, my love

君のことが忘れられない 一瞬たりとも
ああ、愛しい人よ
目を閉じると君をそこに感じる
ああ、愛しい人よ
思い出が僕の胸を焦がす